

## 諸人のここに学びて―校長室から見える風景―(63)

### 創立130周年記念式典、また次の10年へ

先週10月10日に本校創立130周年記念式典を挙行了しました。多くのご来賓のみなさまにご臨席いただき、無事に終了することができました。また、祝詞やお祝いのメッセージもお寄せいただきました。お世話になりましたみなさま方に厚くお礼申し上げます。

式典に合わせて記念誌を発刊しました。準備のためにこれまでの周年記念誌や資料を拝読しますと明治29年の創立以来、多くのみなさまのご支援ご尽力があったことをあらためて実感しました。生徒の学業への意欲はいうまでもなく歴代校長先生方、教職員のみなさまの熱意、同窓会達徳会(卒業生)のみなさまの母校への思い、保護者、地域のみなさまのご支援など改めて敬意と感謝の思いを抱かずにはいられないものでした。

そして131年目を迎えて、伝統を受け継ぎながらも新たな時代への対応も必要となっています。今後も教職員が力を合わせ取り組んでまいります。地域のみなさまには変わらぬご支援ご厚情をお願い申し上げます。

先日、校長室に放送部の1年次の生徒がインタビューに来てくれました。放送作品を制作しているそうで、この130周年にあたり私の話を聞きたいとのことでした。質問の中に「豊高生のいいところ何か」というものがありました。これには迷うことなく「頑張る人が多いこと」と答えました。学業だけでなく学校行事や部活動、さまざまなことに頑張る人が多く、頑張る人を応援したり、互いに切磋琢磨するのも素晴らしいところだと思っています。頑張ることが、カッコいいと思わせてくれる(私たち教職員もそう思う)カッコよさがあります。そんなところを受け継ぎつつ、生徒のみなさんには高校の3年間、豊高ならではの学校生活を楽しんでほしいと思っています。



当日は秋晴れの空が広がり、ありがたいことでした！